

平成 19 年度事業報告

事業に関する報告

1. 美術館事業

(1) 展示事業

開館 25 周年記念特別展「美の求道者・安宅英一の眼——安宅コレクション」

期 間 平成 19 年 4 月 7 日（土）～9 月 30 日（日）

展示点数 221 点

開館日数 153 日

同時開催 常設展「東洋陶磁の展開」（展示点数 46 点）

入館者数 62,093 人

内 容

開館 25 周年を記念して開催した今回の特別展では、当館の中核をなす安宅コレクションの形成に最も大きな役割を担った旧安宅産業株式会社元取締役会長・故安宅英一（1901-94）の美意識に焦点をあて、初公開作品を含む安宅コレクションの代表作や関連作品により、同コレクションの形成史を紹介した。来館者へのアンケート調査では 9 割以上がその内容に満足との評価を得るなど多くの方々から好評を得るとともに、美術関係者やメディアからも注目を集め、高く評価された。

なお、本展は次の会場で巡回展示し、大阪市立東洋陶磁美術館と安宅コレクションの価値や存在意義を広く知らしめる大きな役割を担った。

【東京展】三井記念美術館

平成 19 年 10 月 13 日（土）～12 月 16 日（日）（56 日）

入館者数：44,792 人（1 日平均 799 人）

【福岡展】福岡市美術館

平成 20 年 1 月 5 日（土）～2 月 17 日（日）（38 日）

入館者数：17,043 人（1 日平均 449 人）

【金沢展】金沢 21 世紀美術館

平成 20 年 2 月 29 日（金）～3 月 20 日（木・祝）（21 日）

入館者数：20,523 人（1 日平均 978 人）

(2) 調査研究事業

ア 調査研究

(ア) 韓国陶磁調査

研究テーマ 「中期高麗青磁の研究」

(イ) 館蔵品に関する調査研究

- ・南宋官窯に関する調査研究
- ・安宅コレクションの中国・韓国陶磁に関する調査研究
- ・朝鮮時代の白磁に関する調査研究など

(ウ) 科学研究費補助金による調査研究

研究種別	研究課題名	補助金額
基盤(B)海外	中国“北宋官窯”青磁の研究	1,700千円
萌芽	唐三彩を例として陶磁器の熱ルミネッセンス法による制作年代の推定のための基礎的研究	200千円
若手(S)	中国隋唐時代の俑に関する総合的研究	700千円
若手(B)	16世紀の日朝陶磁史における「高麗茶碗」の生産と受容	600千円
間接経費		720千円
合計		3,920千円

(エ) 学会、研究会などへの参加

- ・東洋陶磁学会総会 (5/19 東京) 2名
- ・韓国・朝鮮美術史研究会 (10/8 東京) 1名
- ・東洋陶磁学会大会 (11/17~18 東京) 2名
- ・大韓海峡と韓日文化ネットワーク (11/22 韓国・東亜大学校) 1名
- ・中国古陶磁学会 (11/20~26 昆明) 1名

イ 研究発表

(ア) 論文 6件 (国内4件、海外2件)

(イ) 口頭発表 4件 (国内2件、海外2件)

(3) 資料の収集・保存・管理

ア 寄贈

寄贈受入れに関する作品調査

イ 保存・管理

展示ケース内免震装置整備 (2 ケース)

(4) 普及事業

ア 講演会、講座等

(ア) 講演会

内 容 (タ イ ト ル)	実 施 日	参加者数	講 師
講演会 「安宅コレクションの特質」	平成19年8月11日	118人	館 長

(イ) 講座

講 座 内 容	実 施 日	参加者数	講 師
東洋陶磁入門講座 ①「中国の青磁入門」 ②「韓国の青磁入門」 ③「中国青磁史話 —魏晋南北朝から隋唐まで—」 ④「五代から元の青磁に関する諸問題」	平成19年8月4日	53人	学 芸 員
研究講座 「中国陶磁史研究の最前線—海外の動向紹介」	平成19年9月8日	25人	外部講師 学 芸 員
李秉昌博士記念公開講座 「中世・東アジアを魅了したやきもの— 12～13世紀の高麗青磁」	平成20年1月19日	93人	外部講師

(ウ) 学会などとの提携による研究会

講 座 内 容	実 施 日	参加者数	備 考
「近世・近代陶磁器の多様性」	平成19年9月29日	31人	東洋陶磁学会共催

イ ボランティアガイド

内 容	実施回数	参加者数
定期ガイド(土・日・祝)	47回	527人
団体・グループに対するガイド(予約)	19回	527人
計	66回	1,054人

ウ 学校、市民・各種団体との連携

団 体 等	事 業 内 容	実施件数	参加者数
博物館学見学実習	学芸員による講義	2件	80人
小・中・高校	ボランティアガイドによる作品解説	2件	100人
市民・各種団体等	学芸員による作品解説	30件	200人
	ボランティアガイドによる作品解説	17件	427人
	特別展講演会と鑑賞会	8件	334人
	講演会とコンサート等催し	2件	181人
計		61件	1,322人

エ 資料貸出

(ア) 館蔵品貸出

館名・団体名	期間	展覧会名称など	点数 (ジャンル)
ベルリン国立東アジア博物館	平成18年4月1日～ 平成20年10月(予定)	韓国美術室	21点 (韓国陶磁)
独立行政法人 九州国立博物館	平成19年3月8日 ～平成20年2月29日	文化交流展示 海の道、アジアの路	32点 (韓国陶磁)
三井記念美術館	平成19年10月13日 ～12月16日	美の求道者・安宅英一の 眼—安宅コレクション	126点 (安宅コレクション)
福岡市美術館	平成20年1月5日 ～2月17日	美の求道者・安宅英一の 眼—安宅コレクション	203点 (安宅コレクション)
金沢21世紀美術館	平成20年2月29日 ～3月20日	美の求道者・安宅英一の 眼—安宅コレクション	56点 (安宅コレクション)
大阪歴史博物館	平成20年1月19日 ～3月10日	なにわ人物誌 没後100年 最後の粹人 平瀬露香	1点 (日本陶磁)
株式会社大阪美術 倶楽部、大阪美術商 協同組合	平成20年2月23日 ～2月25日	企画展 色絵の煌 古九谷	2点 (日本陶磁)
金刀比羅宮	平成20年3月20日 ～8月20日(予定)	大阪市立東洋陶磁美術館 所蔵—堀尾幹雄コレク ション 濱田庄司展	101点 (濱田庄司他作品)

(イ) 写真資料貸出 28件

オ アンケート調査

今後の展覧会企画や広報等に資するため、入館者に対し、展覧会に対する評価・意見・要望年齢層、交通手段、居住地域等について下記のとおり調査を行った。

(ア) 特別展「美の求道者・安宅英一の眼―安宅コレクション」 一般アンケート

実施日 平成19年4月7日(土)～9月30日(日)

会期中下記調査実施日以外の109日間

回答数 563人

(イ) 特別展「美の求道者・安宅英一の眼―安宅コレクション」 展覧会評価調査

実施日 平成19年6月19日(火)～6月24日(日)

回答数 35人

実施日 平成19年7月14日(水)～7月16日(月・祝)

回答数 74人

実施日 平成19年8月28日(火)～9月2日(日)

回答数 40人

実施日 平成19年9月26日(水)～9月30日(日)

回答数 62人

(5) 広報・宣伝事業

ア 広報・宣伝に関する業務

(ア) メディアでの紹介

広報媒体	広報掲載 件数	内 容 等
テレビ・ラジオ	12件	美術館・作品紹介、各展覧会情報など (4/4 NHK データ放送、4/20 CTV「大阪ほっとタイム」など)
新聞・雑誌	123件	美術館・作品紹介、各展覧会情報など (4/4 朝日新聞(夕)、4/6 読売新聞(夕)など)
インターネット	13件	美術館・作品紹介、各展覧会情報など (「日韓文化交流カレンダー」、「美術館.com」、「Yahoo 地域情報」など)

(イ) 印刷物などによる情報発信

種 別	主 な 配 付 先 ・ 掲 出 先 な ど
年間予定表	美術館・博物館、マスコミ、学校、観光案内所、古美術商、文化センター等 計 2,452 件
ポスター	美術館・博物館、マスコミ、学校、観光案内所、古美術商、文化センター等発送 計 2,298 件 市内掲示板掲出 3 回、駅掲出 6 回、店舗掲出 2 回
チラシ等展覧会資料	美術館・博物館、マスコミ、学校、観光案内所、古美術商、文化センター等 計 130,695 件
プレスレビュー	一般公開に先駆けた、学芸員による展覧会内容紹介 マスコミ 95 社

(ウ) ホームページ

内 容

- ・ 利用案内、主要な館藏品
- ・ 展覧会情報などの最新情報
- ・ 図録・ミュージアムグッズなどの紹介・通信販売案内

更新回数 8 回

年間アクセス数

4 月～7 月 73,755 件

8 月～20 年 3 月 829,201 件

(システム変更のため、カウント方法に変更有り)

イ 他館・企業等との提携

区 分	団 体 名	内 容
美術館等	大阪市立の博物館等施設	ポータルサイトによる情報発信 共通ポスター制作 ミュージアムウィークス 2007 の開催等 相互広報 (チラシ・ポスター等)
	国立国際美術館他	相互広報 (チラシ・ポスター等)

電鉄会社等	JR、地下鉄、在阪私鉄、関西 空港	広報誌・社内誌への館紹介記事掲載 ポスター・チラシの設置 観覧券販売
デパート	在阪百貨店友の会	広報誌への掲載 チラシ設置 観覧券販売
一般企業	在阪企業約 20 社	広報誌への掲載 社員への広報 ポスター・チラシの設置 観覧券販売
ホテル	在阪主要ホテル	パンフレット設置
大阪市関連団体	(財)大阪 21 世紀協会	ぐるっとパスへの参加 ミート大阪による情報提供
	(財)大阪観光コンベンション 協会	観光キャンペーン催事等でのチラシ設 置
	世界陸上大阪大会	ポスター・チラシの設置
その他広報関係	フリーカードシステム	市内協力店舗へのポスター掲出・チラシ 設置
観光タクシー	観光タクシー協会	観光コース設定・運転手への概要説明

(6) 施設・設備の維持管理

開館期間中、下記の業務を実施した。

ア 保守管理業務

設備種目	機器及び設備名称	メンテナンス内容	実施状況
空調設備	吸収冷温水機	定期点検	1回/年
	冷暖房設備機器	定期点検	1回/年
	空調設備用自動制御機器	定期点検	1回/年
	空調用エアフィルター	定期点検	2回/年
電気設備	自家発電機	定期点検	1回/年
	非常電源	定期点検	1回/年
自動ドア設備	自動ドア	定期点検	2回/年
昇降機設備	エレベーター	定期点検	6回/年
防災設備	消防設備	定期点検	2回/年
	非常警報・放送設備	定期点検	1回/年
衛生設備	各種水槽清掃	定期清掃	1回/年
	害虫駆除	定期実施	1回/年
環境測定	空気環境測定	定期点検	3回/年
通信設備	電話設備	定期点検	6回/年

イ 環境維持管理業務

(ア) 保安警備業務

内 容	実施状況
監視、巡回、立哨等 ・ 事故、災害、犯罪等の予防、警戒、施設利用者の安全確保 ・ 施設利用者の入退出等の管理 ・ 館蔵品の盗難等の防止 ・ 機械警備の実施	24時間常駐

(イ) 受付案内業務

内 容	実 施 状 況
・施設利用者への案内、誘導、安全確認等受付業務全般 ・来客の受付、館事務所への連絡	日常実施

(ウ) 清掃業務

清 掃 場 所	メンテナンス内容	実 施 状 況
日常清掃（展示室、ロビー、玄関、外周）	日常清掃	日常実施
床 清 掃（展示室、ロビー、玄関、外周）	定期清掃	2回/年
窓ガラス清掃	定期清掃	2回/年
展示ケース・ケース内照明器具清掃	定期清掃	1回/年

(エ) 植栽維持管理業務

内 容	実 施 状 況
建物外周樹木及び室内装飾樹木 ・樹木剪定、整枝、施肥薬剤散布等	外周樹木 12回/年 室内樹木 6回/年

(オ) 防災等

内 容	実 施 状 況
日常の防火・防災点検	日常実施
定期的な防火・防災訓練の実施	2回/年

2. 自主事業

(1) 友の会

ア 友の会会報の発行 年4回

イ 講演会等の開催

種 類	内 容 (タイトル)	開 催 日	会員参加者数
講 座	東洋陶磁入門講座 ①「中国の青磁入門」 ②「韓国の青磁入門」 ③「中国青磁史話—魏晋南北朝から隋唐 まで—」 ④「五代から元の青磁に関する諸問題」	平成19年8月4日	53人
研究講座	「中国陶磁史研究の最前線—海外の動向 紹介」	平成19年9月8日	15人
研 究 会	「近世・近代陶磁器の多様性」	平成19年9月29日	15人

(2) 出版等

ア 展覧会図録の制作・販売

(ア) 特別展図録「美の求道者・安宅英一の眼—安宅コレクション」

(イ) 大阪市立東洋陶磁美術館館蔵品選集「東洋陶磁の展開」

(ウ) コンパクト図録 大阪市立東洋陶磁美術館館蔵名品選「中国・韓国・日本のやきもの」

(エ) その他図録「鳥と魚のうた—鶏龍山のやきもの」他

(オ) デジタル図録「牡丹—花咲く東洋のやきもの」、「粉青扁壺—かたちともようを楽しむ」

イ ミュージアムグッズの制作・販売

(ア) オリジナルグッズ (絵葉書、レターセット、ハンカチ、カレンダー)

(イ) 特別展の期間限定グッズ

(ウ) その他 (陶磁器関係参考書籍、スカーフ、バッグ、雨傘など)

[参考]

1 開館日数等

開館日数 153 日	特 別 展	153 日	開館時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時まで 毎週金曜日は午後 7 時まで (入館は閉館の 30 分前まで)
休館日数 213 日	月 曜 日	21 日	毎週月曜日（祝日を除く）、祝日の翌日、 臨時(展示替作業)
	祝 日 の 翌 日	3 日	
	展 示 替	6 日	
	工 事 休 館	183 日	

2 入館者等館利用状況

内 容	開催日数	入館者合計
特別展 「美の求道者・安宅英一の眼 —安宅コレクション」	153 日	62,093 人